

消防団員たちの声

消防団は上下関係が厳しいという昔のイメージがありますが、今は若い世代も多く、分団長として楽しく活動できるよう努めています。また、大切な人を守るための防災意識を身に付けることができるなど、入団して自身の成長につながっていると感じています。



第23分団 北原大聖さん

8年前に引っ越してきたことを機に入団しました。高校生の時に自宅が火事になり、助けてもらったことも入団を決めた理由の一つです。夜中の出勤など大変なこともあります。夜中の出勤など大変なこともありますが、地域の安全を守るため、自分にできることをやろうという思いで活動しています。



第7分団 藤野真さん

地域の防災訓練等での救命講習や、火災予防運動の時には市内を巡回し、防火の呼びかけなどを行っています。活動を通じて、たくさんの人と出会えたことが何よりの財産です。さまざまな職業や世代の仲間たちと、和気あいあい楽しく活動しています。



女性消防団 長瀬久江さん

火災の現場には消防士より早く到着することもあり、時には最前線で消火活動を行うこともあります。そのため、責任感がとても強くなり、やりがいを感じるようになりました。また、地域の人たちとつながりが持てるため、交友関係が広がることも魅力です。



第17分団 小田倉剛史さん

消防団の主な活動内容



災害対応

火災現場での消火活動のほか、地震や水害といった大規模災害時の避難誘導、巡回などを行います



広報活動

春と秋に行う火災予防運動での広報活動や、イベントなどでのPR活動を行います



消防団 Q&A

Q どのくらいの頻度で活動していますか？

A 昨年は各分団で平均10回の火災出動がありました。平常時には、訓練や消火栓の点検、市の防災訓練等への参加がありますが、全てに参加しなければならないことはなく、仕事等を優先としています

Q 報酬・手当てはありますか？

A 階級等により異なりますが、一般の団員で年額50,000円、火災出動1回につき4,000円が個人に支給されます。また、公務災害の補償制度があり、活動中に負傷した場合は治療費等が補償されます

自分たちのまちは自分たちが守る

マチノマモリビト 古河市消防団

火災や災害が起きた時、駆け付けてくれるのは消防士だけではありません。地域を守るため、自宅や職場から現場に出動し、奮闘するのが消防団員です。消防士と連携し、被害を最小限に食い止める活動を行います。



消防団は地域になくてはならない組織です。年々、団員数が減少しているため、私たちは新しい仲間を必要としています。あなたも「マチノマモリビト」になって、自分たちが暮らす大切なこのまちを一緒に守っていきましょう！

古河市消防団 団長 井上功さん

～マチノマモリビト～ 消防団員募集

■入団資格(基本要件)

- ・18歳以上の人
- ・市内に住んでいる人、または市内に勤務している人
- ・やる気あって、心身ともに健康な人

【問】 ☎消防防災課Tel.76-1511

